

【台風19号のこと】

長野支部 工藤 紀千蔵

今回の台風19号の被害の有無について、数名の方から電話やメールを、また高津区の状況を高橋俊彦様からメールを頂きましたので、すでにテレビ・新聞などでご存じと思いますが、こちらの様子を少しご報告いたします。

といっても、車で現地へ行くことは運わぬ事なので今だ現場を見ていないのですが、幸い私が住んでる長野市石渡地区は風水害の被害はありませんでした。

千曲川の堤防が決壊した所はここから4km位東北の「穂保(ほやす)」地区で、通称アップルラインといわれてる国道18号線沿いです。長野工場からは東に3km位でしょうか。

10/12(土)夜、台風19号は「猛烈な風雨を伴って長野県に接近する」との警報があったが雨風もそんなにひどくはなく、13日～14日に予定してる石渡の祭りも何とかできそうだな、と話しておりました。

13日(日)朝6時頃起床、テレビを入れると千曲川が穂保地域で決壊・氾濫したとのニュースで大騒ぎ。1時頃決壊した様子である。

友人が穂保でリンゴ栽培をやってる事もあり、メールを打っておく。昼頃「早めに避難所に避難をしたので家族全員無事」との電話あり。家がどうなっているのか近づく状況ではないらしい。

我が家のすぐ近くの運動公園のグラウンドが自衛隊などの救済基地となり、へりや救急車が行き交う。夜を徹して氾濫した水をポンプで排水したらしい。

14日(月)被害の全容が分かってきた。

国道18号線は不通。穂保地区の家は3～4m位の濁流に浸かったらしい。

赤沼地区(穂保の北側)の長野新幹線車輛基地が浸水した。

駒沢地区(穂保の西側)のリハビリセンターが浸水で孤立している、など。夕刻から新幹線長野・東京間が一部動き出した。

15日(火)決壊の調査団が入ってきた。

支流を多く抱えている1級河川は常に問題を抱えているのだろうか。

北陸新幹線は長野と上越妙高高原の間が不通。開通まで1～2週間位はかかるとのこと。長野・東京間が1時間に1本位動き出す。

車輛基地が浸水して北陸新幹線の1/3が使用不能。通常の状態になるのは1年以上かかるらしい。22時頃国道18号線開通。一般車両は通行を控えるよう通達あり。

16(水)運動公園の災害対策基地も静かになった。

朝夕が寒い。被災され避難所で過ごす人々の今後の心配である。

さて、他の長野の会員の被害の様子はどうだったのだろうか。

長野工場の南側を流れる浅川の氾濫は無かったとの事だが、浅川ダムの放水には問題が残るそう。飯山、松代、上田でも氾濫があった様なので誰かに報告願おうか。

「災害は忘れた頃にやってくる」と言うが、千曲川の決壊は1983年以来とか。気象研究者は、地球温暖化を考慮するともっと頻繁にくるのではないかと予測する人もいるが、我々の生活に少しでも問題があるならば、改めて行く必要があるだろう。

以上

【台風四方山話】

(19号通過前後の自身の状況と長野事業者関係者の被災状況について)

長野支部 小池 信良

昨年10月12日、13日を中心とした台風19号による豪雨災害から3ヵ月が過ぎましたが復旧は遅々として進まない状況です。被災された方々には心よりお見舞い申し上げますと共に一日も早い復旧を祈念申し上げます。

さて10月12日は自身が卒業した長野市立浅川小学校の同級会を長野駅前のホテルで計画していました。偶々幹事でしたので早朝から台風の影響による風雨について気掛かりで空ばかり眺めていましたが、午前中は全く問題なく過ぎましたので会場には計画通り実施する旨伝えて様子を見ていました。処が正午を過ぎたころから急に雨脚が強くなり実施の決断が正しかったのか心配になりましたが、流石にその時点で中止(延期も含めて)も出来ず強行することになりました。

県外からの参加者は新幹線等電車の運航の関係もあり前日夜の段階で不参加の連絡がありましたので、結果として参加者は市内在住者のみとなりました。

懇親会は17時30分開宴でしたので幹事でもあるため17時前には会場のホテルに入りましたがその時は相当量の降雨でした。開宴後も暫くは台風に関する話題で推移しましたが、久しぶりの同級会であったため話題は思い出話に変わり、瞬間に2時間30分が過ぎ宴会は終了し具々帰途につききました。

自分は同級生の自家用車に乗、自宅まで送ってくれるとの言葉に甘えて自宅に向かう途中の市街地を抜け山間の道路を走行中、普段は点灯しているはずの街路灯が全て点灯していないことに気がきました。

暫く走行後、自宅のある集落に入りましたが20時を過ぎているにも拘らずどの家にも明かりが点灯しておらず改めて台風の影響での停電であると得心した次第です。結果的にこの停電は強風による倒木が原因との事で復旧まで30時間程度に及びました。(停電は市街地から外れた浅川山間地区周辺から飯綱町地区の一部合計200戸程度)

翌13日(日)は8時頃には自宅から事務所(協友アグリ)に向かいました。既に工場長は出社し工場内を点検中で、その後数人の管理職も出勤して再度場内全てを点

検した結果被害は皆無だったようです。

自分は周辺の状況も気になっていたため自家用車で工場周辺から徐々に範囲を広げ見て回りましたが、工場より東に1km程の「古里小学校」近くの果樹園までが数十cm浸水している状況でした。当然のことながらそれより東側（堤防が決壊した穂保地区方面）には交通規制があり進めませんでしたので、その後は道路を北方面（浸水した新幹線車両基地方向）に向けて見て回りましたが、その後の報道のとおり言葉に尽くせない被害状況で、今後このような災害は何所であっても絶対に起こってほしくないと改めて思った次第です。

長野事業体関係者（長野市内）の被災状況は下記のとおりです。

営業関係：1名

- ・実家の母屋・物置小屋等の床上浸水（約2m）、軽トラを含め車両3台、SS等農業用機械多数、その他水田・果樹園浸水等。

工場関係：1名

- ・社宅として使用しているアパートからの避難勧告のみで被害は無かった。

研究所関係：2名

- ・1名は工場関係者と同様。
- ・もう1名は長沼地区にある祖父母の自宅家屋等の床上浸水等。

関連会社関係：1名

- ・自宅家屋の床下浸水等。
- ・関連会社が借用している圃場にあったパイプハウス8棟の浸水被害と、内1棟の損壊及び観測機器類の全損等。

友の会関係：1名

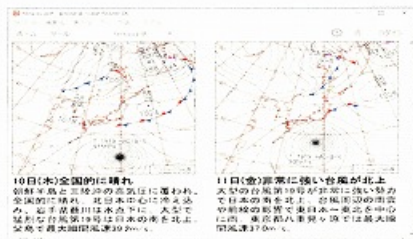
- ・奥様実家の家屋等の床上浸水等。

※ 改めて被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

追記

実は10月16日(水)に友の會長野支部行事(中山道奈良井宿方面への小旅行)を計画しておりましたが交通状況等も鑑み次年度に延期としました。よって今年度の行事は2回を検討中です。直しくお願い致します。

以上



【台風19号長野県被害状況報告】

長野支部 池田 國夫

長野県建設部 河川被害内容 令和1年10月17日現在

地区名	市町村名	河川名	被害内容	備考	
南佐久	川上村	千曲川	橋梁被害		
	南牧村		橋岸崩落		
	佐久穂町		越水		
	佐久市	千曲川	橋岸崩落	千曲川の遊流地帯	
		滋賀川		高原野菜レタス等の大産地	
		深津川	越水・橋岸浸食		
		片貫川			
		雨川	冠水・橋岸陥没		
		吉沢川	越水		
		中沢川	越水		
		谷川	橋岸崩落		
小湊町	榎木川	橋岸崩落			
北佐久	碓井沢	泥川	越水		
上田小県	東御市	千曲川	橋岸崩落	ブドウ産地	
		金原川		(ワイン用・シャインマスカット)	
	上田市	千曲川	堤防越水・堤防欠損 落橋	真田丸本拠地 別所緑鉄橋・田中鉄橋	
		神川	橋岸崩落		
		依田川	越水・橋岸崩落	上田市状況	
		大門川	橋岸崩落	被害建物 158件	
		湯川	越水・橋岸崩落	床上浸水 37件	
		武石川		床下浸水 62件	
		産川	越水 冠水	屋根瓦被害 58件	
		尾根川	越水		
北信濃	千曲市	粟科川	越水		
		沢山川		信州果樹産地	
	麻績	千曲川	堤防越水	(リンゴ・桃・ブドウ)	
		麻績川	堤防決壊	犀川支流	
	須坂市	千曲川	堤防越水		
		八木沢川	越水		
	小布施町	千曲川	堤防越水		
	山王島	千曲川	堤防決壊	穂保町 アップライン(長野)	
			堤防越水	碓ノ井 栢田	
		長野市	岡田川	堤防越水・橋岸崩壊	
			赤野田川		
			埴川	堤防越水	
			古瀬川		
		中野市	千曲川	堤防越水	立ヶ花など2ヶ所
	千曲川		内水氾濫	近くの用水路	
	飯山市	広井川	排水ポンプ車稼働		
		今井川			
皿川		越水・内水被害発生			
栄村	千曲川	堤防越水			

- ・千曲川の水流・支流長野県東信・北信の広い範囲の災害で
- ・農産物は果樹地帯を中心に甚大な被害になり復興に取り組みしている

【千曲川の調べ】

信濃 太郎

令和元年に余りにも名を轟かせた千曲川（県内延長214km）は長野県南佐久郡川上村の甲武信岳（2475米）から流れ出し北アルプス槍ヶ岳（3180m）を源流とする犀川と長野市郊外で合流し新潟県に入ると信濃川と名を変え総延長367kmの日本一長い大河となり新潟市に注ぎ込む、この高低差（横断勾配）は何と900mにも及ぶ。

上流部では島崎藤村の余りにも有名な「千曲川いざよう波の岸近く宿にのぼりつ」と、ゆったりした静かさを、中流部では「春が来た」「春の小川」「朧月夜」「故郷」「紅葉」などの文部省唱歌の舞台となった日本の源田園風景を詠い、加えて新潟平野の肥沃の地、日本のコメどころと文化や暮らし、産業を支えている反面、氾濫を繰り返してきた大河「千にも曲がる川」を振り返ってみた。

1. 台風19号による被害（信濃毎日新聞掲載 国交省データ）

*長野県の被害が多かったのは川幅が新潟県に比べ狭い事が原因と思われる。

項 目	長野県	新潟県	合 計
流域自治体世帯	9176	186	9362
全壊箇所	1079	0	1079
半壊	2655	0	2655
損壊一部	3714	8	3722
床上浸水	3896	15	3911
床下浸水	4818	163	4981
死者	5	0	5
重傷者	7	0	7
軽症者	137	0	137
決壊箇所	6	0	6
越水溢水	15	5	20
欠損	19	14	33
橋・鉄橋崩壊箇所	3	0	3

2. 降雨量（10月11日～13日）

100mm以上箇所	10	9	19
200mm以上	7	2	9
300mm以上	3	3	6
400mm以上	1	0	1

以上